

特集
2

安城市内景況調査結果 (2019年10月～12月)

<全産業において収益状況の下降が見られる>

1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 105企業
2. 調査対象時期 2019年10～12月期
(1)前年同期 (2018年10～12月) と比べた今期の状況
(2)今期と比べた来期 (2020年1～3月) の先行き見通し
3. 企業数内訳

	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	その他	計
企業数	21	19	27	25	13	105
構成比	20.0%	18.1%	25.7%	23.8%	12.4%	100.0%

安城市内の今期の業況判断DIを詳しく見ると下記の表のとおり、-16.4ポイントとなった。業況判断の前回実績 (-5.0) と比較すると11.4ポイントの下降であった。企業の業況は、全業種に収益状況の下降が見られる。また、雇用人員については不足の状況が続く見通しとなる。

	前年同期比 (前回)	前年同期比 (今回)	来期の 見通し
業況判断	△5.0	△16.4	△16.4
売上高	△5.0	△14.5	△12.5
売上単価	△3.0	△6.8	△13.5
資金繰り	△6.0	△4.8	△9.7
借入難度	0	△2.9	△7.6
収益状況	△7.0	△18.4	△18.2
雇用人員	△3.0	△8.6	△18.2

凡例▶

30以上 10を超える 10～△10 △10を超える △30以上

		全産業											
		製造業		小売・卸業		建設業		サービス業		その他			
前年同期対比	業況判断	△16.4		△47.5		△5.2		△11.1		△12.0		△0.1	
	売上高	△14.5		△28.6		△5.2		△18.5		△12.0		0	
	売上単価	△6.8		△14.2		△10.5		△7.4		0		0.1	
	資金繰り	△4.8		△14.3		△21.0		△14.8		△12.0		8.3	
	借入難度	△2.9		△14.3		10.5		△3.7		△8.0		8.3	
	収益状況	△18.4		△42.9		△15.8		△14.8		△12.0		△0.1	
	雇用人員	△8.6		0		△36.9		0		△4.0		△8.4	
来期の見通し	業況判断	△16.4		△38.1		10.5		7.4		△32.0		△41.8	
	売上高	△12.5		△23.8		5.2		7.4		△28.0		△33.4	
	売上単価	△13.5		△9.5		△5.2		△14.8		△24.0		△8.4	
	資金繰り	△9.7		△19.1		10.5		△11.1		△16.0		△8.3	
	借入難度	△7.6		△14.3		5.2		△7.4		△12.0		△8.4	
	収益状況	△18.2		△38.1		△15.8		3.7		△24.0		△25.1	
	雇用人員	△18.2		△9.5		△21.1		△11.1		△28.0		△25.1	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。
なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。